

手術を受ける患者さんと ご家族が安心して手術を 受けていただくために

手術看護認定看護師 松本 恵

ご家族が納得して 安全な手術が受けられるように

病気になり、医師から「手術をしましょう」と言われた時、皆さんはどのようなことを思いますか？「手術は成功する？」「麻酔から目が覚める？」など、いろんなことをお考えになるのではないのでしょうか。

手術を受けるということは、人生において一大イベントです。私は「手術を受ける患者さんやご家族に対して安全と安楽を保障する」ことを活動目標とし、手術決定から回復期における周術期看護を実践しています。

そこで麻酔科医師の術前診察に手術室看護師が同席し、患者さんの身体的状態を把握するだけでなく、患者さんやご家族の思いも受け止めるような関わりができるよう取り組んでいます。

手術が決定したら、手術前に麻酔科外来で麻酔科医師による術前診察を行います。安全な手術と麻酔のためには、全身状態を把握しリスクを予測することが必要です。術前に血液検査、心電図、レントゲン、CT、MRI、呼吸機能などの検査を行います。その内容を基に麻酔科医師が全身状態を評価し、麻酔とリスクの説明を行います。そこには手術室看護師も同席し起こりうるリスクを麻酔科医師と共有します。同席した手術室看護師は「お任せします。」という患者さんの言葉の裏にある思いを理解するために寄り添い、不安なことはないか、医師の説明内容が理解できているかを確認します。ご家族の思いも受けとめ対応します。

そして手術や麻酔に必要な医療機器や医療材料を準備して手術に携わります。私は患者さんやご家族が納得して安全な手術が受けられるよう同席する手術室看護師へ支援しています。その内容を術前からかかわる病棟看護師と連携できるよう調整しています。

手術室内では手術看護において新人教育や現任教育に携わり、個々に応じた指導に努めています。

また院外の手術室看護師の指導も行っています。島根県内の手術看護認定看護師と連携し、日本手術看護学会島根分会で研修会を企画運営し、院外講師や手術看護関連雑誌の執筆も行っています。



今後も患者さんにご家族が安心して安全な手術が受けられるように、手術に携わるメンバーと切磋琢磨していきたいと思っています。

